

前回は、創世記から「神と人」との関係をみた
今朝は、エペソ書から「人と人」との関係を見る

I 神のご計画、目的(1:3～14)

- ①私たちが神の子とするため(5)
世界の基が置かれる創造の前から、
神の家族の一員として迎える計画だった
- ②キリストにあって全てのものが1つになる(和解)(10)
時がついに満ちて、神さまは計画を実行！
歴史の中でこの時が待たれていた
- ③父なる神がほめたたえられる(神の栄光)(3, 6, 12, 14)
すべてのことが、このため

II 個人的に神さまがして下さったこと(1:3～14)

- ①愛して下さった(5)
神の私たちへの愛は最初からあった
- ②罪を赦して下さった(7)
御子の血、十字架による神の豊かな恵みによる贖罪
- ③祝福して下さった(3, 10, 13, 14)
健康や経済の祝福以上の霊的祝福「天にあるものすべての」

III 私ができること(4:25～32)

神様がして下さった事をわたしたちがお互いにする

- ①互いに愛し合う(25～32)
互いを1つのからだの一部分だとして真実な関係を築く
- ②互いに赦し合う(31, 32)
キリストが私たちを赦して下さったように、互いに赦し合う
- ③祝福し合う(28, 29)
言葉で人の徳を養い恵みを与える。具体的に行動に表す

<おわりに>

神さまは、私たちを愛し、罪を赦し、祝福してくださっている
私たちも、共同体として、互いに愛し合い、赦し合い、祝福し合ひましょう！
そのことによって、神が現わされる(M.M.M)